

令和7年度予算編成方針について

1 概要

令和7年度予算編成においては、市民が安心した暮らしを取り戻すため、能登半島地震からの復旧復興に向けた取組みを最優先としつつ、人口減少対策の推進や、「第9次氷見市総合計画前期基本計画」の推進など、喫緊の課題に的確かつスピード感を持って対応し、人口減少下においても幸せに暮らせる「活力とにぎわいのある『ひみ』」を創造するため、職員一人ひとりが内外の環境変化をしっかりと捉え、市政の諸課題の解決に向けて、これまでの事業の手法や認識等を根本的に見直し、創意工夫を凝らして予算編成に取り組むこととする。

2 基本姿勢

(1) 能登半島地震からの復旧復興

令和6年能登半島地震による被害から1日も早い復旧復興ができるよう「氷見市被災者支援・復旧復興ロードマップ」に掲げる取組みを推進する事業に予算を優先的に配分する。

(2) 人口減少対策の推進

地方創生の実現に向け、人口減少対策に重点的に取り組む必要があることから、より実効性のある人口減少対策や人口が減少しても幸せに暮らせるまちづくりを推進する事業に予算を優先的に配分する。

(3) 第9次氷見市総合計画の推進

令和8年度までを計画期間とする「第9次氷見市総合計画前期基本計画」の各施策の目標達成に向けた取組みが求められることから、総合計画の4つの基本目標に掲げる政策の更なる推進、SDGsの達成に向けた動きの加速化、カーボンニュートラルを目指した取組みの推進などに寄与する事業に予算を優先的に配分する。

(4) 持続可能な財政運営の推進

限られた財源の中で、事業の「選択と集中」及び「スクラップ・アンド・ビルド」の徹底と必要な財源の確保に努めるとともにデジタルを活用した地域・行政サービス・内部事務の改革を推進することにより、最少の経費で最大の効果を挙げ、持続可能な財政運営を推進する。

(5) 予算編成業務の効率化

予算編成過程にデジタル化を導入して、予算編成の効率化を図ることで、事務負担の軽減と時間外勤務の縮減、ペーパーレス化等につなげる。

3 予算編成基準

(1) 特別枠の設定

① 震災対策枠 … 上限を設けない

令和6年能登半島地震からの復旧復興を推進する施策

② 活力とにぎわいのある「ひみ」の創造枠 … 一般財源ベースで2億円

次の項目に該当する新規事業及び既存事業の拡充分

ア 未来づくり

- (i) こどもまんなか社会の実現
- (ii) 教育の振興
- (iii) 文化・スポーツの振興
- (iv) 共生社会の実現

イ 地域づくり

- (i) 防災・減災対策の充実
- (ii) 魅力あるまちづくり
- (iii) 中山間地域の振興・過疎対策
- (iv) くらしの充実

ウ 産業づくり

- (i) 持続可能な農林水産業の振興
- (ii) 商工業の活力の維持・発展
- (iii) 観光振興
- (iv) 企業誘致、起業支援

(2) その他の経費

特別枠以外の経費は、次に掲げる経費を除き、一般財源ベースで、令和6年度当初予算額の5%以上を削減目標とし、事業担当課と財政担当課が連携・協力して、その目標の達成に向けて取り組むこととする。

- ・債務負担行為及び長期継続契約に係る経費
- ・人件費
- ・公債費
- ・災害復旧事業費

お問合せ先

財務課 担当者名：菊地（電話）0766-74-8015